



第18回マニフェスト大賞 躍進賞部門 優秀賞を受賞

全議員で行った市内全小学校への主権者教育が議会改革を大きく前進させた、優れた活動として評価されました。

実際の主権者教育の様子は「やまが市議会だより第39号」をご参照ください。



《もくじ》

行政視察報告	2～3
委員会レポート	4
予算決算委員会	5
質疑・一般質問	6～11
賛否表・討論	11
議連活動	12
議会報告会案内	13
議会の主な動き他	14

総務文教常任委員会

期 間 令和5年10月25日～27日

視察先

- ① 青森県弘前市
- ② 秋田県鹿角市



弘前市役所

① 弘前市「不登校対策事業」フレンドシップルーム活用により集団生活へ復帰

6項目の事業を展開しており、特にフレンドシップルームという通所施設を設置し、集団生活

に困難を感じている又は不登校傾向にある児童生徒について、集団生活への復帰に向けた支援を行っている。令和4年度は、通室生のうち約78%が再登校につながり、高校進学を含めると86%が集団生活への復帰をはたしている。

② 弘前市「りんご生産アルバイト兼業推進事業」市職員をりんご農家へ派遣

りんご産業は弘前市にとって重要な基幹産業であるが、補助労働力不足が深刻な問題となっていた。そこで、対応策として市役所や民間企業、団体等に勤務する職員の兼業（副業）の推進と気軽に働ける短期雇用派遣システムの構築を行っている。

特に市職員が営利企業へ従事することに對しては法的な制限等のハードルがあったが、任命権者の許可や利害関係が懸念される部署の職員を対象外とするこゝとで従事が実現している。令和3年度からの市職員の従事者数は41名。派遣農家は31件。



弘前市

③ 鹿角市「関係人口創出の取り組み」

自然と歴史に恵まれた市であるが、やはり人口減少特に若者

の首都圏転出の傾向が続いている。そこで、総務省のモデル事業として関係人口（都会に暮らしながら地域に愛着を持ち、様々な形で関わる人々）を増やす取り組みである「鹿角家」を始めている。

現在では首都圏を中心に317人の会員がおり、過去8年間で265世帯、427人の移住者につながっている。更に首都圏の若者につながる「鹿角家U25」も創設している。



鹿角市



菅平高原グラウンドの一部

建設経済常任委員会

期間 令和5年11月6日～8日

視察先 ①長野県上田市

②新潟県上越市

①上田市「スポーツツーリズム」 スポーツ観光による地域活性化

平成22年に地元団体が、菅平高原の人々及び来訪者を対象に

『NPO法人スポーツリゾートすがだいら』を設立した。現在では103の宿泊施設、108面のグラウンド、11棟の体育館、175haの広大な面積に11ゲレンデ60コースを擁するスキー場のほか、第3種公認の陸上競技場、プール等がありそうした環境の提供が誘客の大きな力になっている。

また、『スポーツ合宿の聖地』と呼ばれる、現在の菅平高原を築いてきた歴史がある一方でレタスを中心とした高原野菜の産地としても有名で農家としての観光産業がある。冬場もス

キー場やスキー学校、旅館ホテルで働くことができる環境であることから、若者が転出せず後継者が育ってきた面もあり、観光と農業が地域産業の両輪となっている。

②上越市「コンパクトシティによるまちづくり」 城下町高田の歴史と文化をいかした『街の再生』

上越市は、平成28年度に地域再生計画を立て、平成29年度に国が選定する「地方再生コンパクトシティ」のモデル都市に選定されている。城下町としての歴史を有し、様々な都市機能が集積している高田市街地において、多様な事業者や市民活動団体との協働により、歴史・文化遺産の活用を通じた「街なか回遊観光」による経済基盤の強化や市内外との交流促進を目的に平成28年度から令和2年度までに延べ23事業に取り組んでいる。具体的には、明治期に建設さ

れた町家を活用した交流施設の整備、洋風建築の建物を公開しつつ民間事業者によるレストランとしての活用、空き家解消と若者をターゲットとした町家活用の情報発信などである。

これらの取り組みの成果として、交流人口は平成27年と比べ約2倍に増えており、空き家・空き店舗利用者は5年で40件とコロナ禍でも高い実績を上げている。



町家交流館高田小町

12/11
開催

建設経済常任委員会レポート

◎小川 榮一 ○隈部 賢治 北原 昭三
松見 真一 豊田新二郎 関口 和良

アイラリッジの指定管理者の選定

ワイン醸造所とアイラリッジ両施設の連携、一体感の醸成を図り、菊鹿ワイナリー全体の付加価値等を高めるために、熊本ワインファーム株式会社を選定した。



アイラリッジ

【その他の審議事項】

- 山鹿市農産物加工施設条例
- 山鹿市水道事業給水条例
- 山鹿市下水道条例及び山鹿市農業集落排水処理施設条例
- 公の施設の指定管理者の指定

12/12
開催

市民福祉常任委員会レポート

◎勢田 昭一 ○金光 一誠 芋生よしや
山下 誠治 深牧 大助 永田 壮拡

介護認定適正判定でサービスに努める

コロナ禍で介護認定訪問調査ができなかった間は、期間を延長しサービス継続に繋げた。状態が悪くなられた方については、適正に判定し適正なサービス提供に努めていく。



現地調査「北町老人集会所」

【その他の審議事項】

- 印鑑登録・証明、手数料の改正条例
- 北町老人集会所廃止条例
- 国民健康保険税改正条例
- 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業運営基準の改正条例

12/13
開催

総務文教常任委員会レポート

◎富丸洋一郎 ○原 芳郎 永田 紘一
有働 辰喜 古川 和博 高橋 龍一

公の施設の指定管理者の指定

(市民交流センター・カルチャースポーツセンター・市民プール)

指定の期間がそれぞれ5年間の長期となることから、その間の事業計画書を確認したいこと、また、市民プールについては、その存在意義や老朽化が激しいことによる改修の費用対効果、新たなプールを建設した場合の効果等について、今後の5年間で総合的に研究するように執行部へ要望しました。



【その他の審議事項】

- 議員報酬および市長等の給与に関する条例
- 一般職員の給与に関する条例
- 空家の管理に関する条例
- 財産の取得について（教師用教科書等）

予算決算委員会

建設経済分科会

スーパー中山間地域創生事業

670万7千円

問 スーパー中山間地域創生事業の内訳は

答 菊鹿町ワイン生産振興協議会の、マルチスプレーヤー、乗用モア、業務用大型圧力式栗釜一式などの購入費。また物産館連絡協議会の、栗剥き機2台の購入費。

市民福祉分科会

戸籍住民基本台帳費736万6千円

問 戸籍住民基本台帳費のシステム改修内容は

答 マイナンバーカードに氏名のふりがな及びローマ字表記を加えるための住民基本台帳法等の改正に伴い、住民票等に氏名のふりがなを記載する必要があるため、関連するシステムを改修するもの。

総務文教分科会

公民館長寿命化事業1724万6千円

問 米田地区公民館の追加工事内容と他地区公民館の改修状況は

答 工事着手後、想定以上の白蟻による壁等への被害があったために、追加工事が必要となった。また他地区公民館についても老朽化しているものについては、順次調査を行い計画的に改修を進めていく。

【予算決算委員会からの意見・要望】

- ①水道料金、健康保険料の引き上げ等で市民の負担が増えている。国の予算で産業面、低所得世帯への支援策が実施されているが、山鹿市独自の市民生活への支援策を要望する。
- ②債務負担行為補正について、5年分の事業計画の詳細、限度額の算出根拠等の説明を要望する。

問 スクールバス運行の安全について

答 安全な業務遂行と緊急時の速やかな対応に努める

まつみ しんいち
松見 真一 議員
(清風やまが)



問 ①スクールバス利用の児童・生徒数、年間走行距離、運行路線数及び運行業者数並びにドライバー数を伺う。
②乗車中の児童・生徒の安全はどのように確保され、車両の安全確認、ドライバーの健康管理、年齢条件はどのようになっているか
問う。

答 教育部長

①本年度は、小学生468名、中学生80名が利用し、一台当たりの年間平均走行距離は、令和4年度の実績で、9・258km。現在小学校19路線、中学校5路線を、3つの事業所へ運行管理を業務委託している。ドライバー数は、24名。

その他の質問

[質疑] 議案第92号山鹿市水道事業給水条例の一部を改正する条例
・日本一和栗で稼げる山鹿市
・移住定住促進施策

②乗車全員のシートベルト着用、降車時の置き去り防止等の車内確認の徹底、運行前後の車両点検を実施するとともに、安全運行会議を行い、安全で確実な業務遂行と緊急時の速やかな対応ができる態勢に努めている。また、毎日全ドライバーが健康診断を受診し、かつ65歳以上の人は定期的な適性診断を受けている。なお、年齢制限はないが、現在29歳から78歳のドライバーで運行している。

問 市民球場・総合体育館のネーミングライツ(命名権)導入について

答 導入に向けた基本方針やガイドラインの整備を指示している

とよだ しんじろう
豊田 新二郎 議員
(鹿政不動産)



問 ネーミングライツ導入は施設の維持管理における財政的な課題に対処する手段として大いに期待される。
市民球場、総合体育館の両施設ネーミングライツの導入について早田市長の見解を問う。

答 市長

ネーミングライツについては、施設の維持管理にかかる財源確保のための方策の一つとして、また、官民連携による地域経済の活性化を図るための有効な手段であると認識している。

本市の市民球場及び総合体育館については、火の国サラマンダーズやオムロンピンディーズの公式戦(ホームゲーム)をはじめ、各種大会・合宿等の開催や市民の利用も多いことから、ネーミングライツ導入が可能な施設であると思う。

両スポーツ施設に限らず、この取り組みが可能な施設全般を見据え、さらには、市による公募型あるいは企業からの提案型の研究も併せ、導入に向けた基本方針やガイドラインの作成(整備)を指示している。

その他の質問

- ・学校給食について
- ・高齢者福祉について
- ・サイクリングターミナル跡の利活用について



問 「障害者雇用対策委員会」(仮称)の立ち上げを

答 ハローワークと連携強化に向け協議・研究する

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



問 今年の「市民福祉常任委員会」の行政視察は、岡山県総社市の「障害者1500人雇用対策委員会」の組織・役員・連携などを調査・研究し、「障害者雇用」の重要性を実感した。本市にも「障害者雇用委員会」を立ち上げるべきと考え、障害者雇用の現状と課題を伺うと同時にその方向性を問う。



答 福祉部長 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき設置されている山鹿市障害者支援地域協議会の中の就業支援部会において、市、福祉事業所、計画相談員、就労相談員等で協議し進めている。今後は、ハローワークとの連携強化に向けた協議と「雇用対策委員会」についても併せて研究していきたい。



問 住んでよし「選ばれる山鹿」移住定住応援策は

答 なお一層の情報発信・普及啓発に努める

ふるかわ かずひろ
古川 和博 議員
(清風やまが)



山鹿市産材使用の家

問 「選ばれる山鹿」に向けた応援施策3本柱の一つとして、若い世代に選ばれ人口減少のスピード抑制にも繋がる事を目的として予算化された「山鹿市産木材の家づくり推進事業」について、現時点での事業効果及び普及啓発方法などの進捗状況について伺う

答 農林部長

山鹿市産材の需要拡大は、林業や製材業、地元工務店など各分野における就業の場の拡大、さらに林業全般の活性化と森林所有者の所得向上に繋がるものである。

今回、他課と連携し新築住宅建設支援を行い、移住人口の増加や定住人口の減少に歯止めをかける目的で、山鹿市産材を60%以上使用した場合に、この購入価格の50%に対して上限100万円を補助するもので11月末18件の承認申請、うち2件は、本事業を知り市外から転入された方である。今後、なお一層の情報発信を図るためホームページやSNS等を活用し普及啓発に努めていく。

その他の質問

- 過疎対策事業債の実績及び今後の事業見通しについて
- 「農村RMO」の取組背景及び展開方法について
- 防災行政無線、難聴対策の現状、防災ラジオの導入について

問 水道料金改定後の老朽管更新の計画は

答 今後10年間で約18km、事業費で約21億円を立案する



たかはし りゅういち
高橋 龍一 議員
(鹿政不動産)



問 今回の水道料金改定の理由として、人口減少等による給水量の減少により料金収入が減少していること、また、老朽化した水道管の更新に加え設備の耐震化に多くの財源が必要となることから、水道管の老朽化は全国的にも問題視されていることから、本市の老朽管の現状と更新計画を問う。

水道局長
水道管の総延長約295kmのうち、法定耐用年数である40年を経過した老朽管は約60kmで、全体の約20%を占める。老朽化を原因とする漏水や災害による漏水事故を防止するためにも管路更新に係る財源を確保し、強靱で災害に強い水道施設づくりや耐震化を進めて行く必要がある。今回、料金を改定することで今後10年間で更新延長18km、事業費で約21億円の事業計画を立案し、継続した管路更新を目指す。

その他の質問

- ・パートナーシップ宣誓制度について
- ・多文化共生のまちづくりについて

問 小中学校の環境(体育館トイレの洋式化)は

答 避難所指定体育館の多目的トイレ設置と合わせて順次整備を進める



きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)



米野岳中学校トイレ

問 防災拠点(避難所)として登録されている体育館のトイレは、洋式・和式トイレの両方が設置してあるかと思われるが、その他の小・中学校の体育館のトイレの現状はどのようになっているか。トイレの和式から洋式への整備計画はどのようなになっているか。学校現場、市民の方から洋式化への要望はないか伺う。

答 教育部長

小学校の体育館のトイレについては、3小学校が洋式で、4小学

校は和式となっている。八幡小学校については、現在屋内運動場建設工事を施工中であり、洋式となる予定。中学校は、全校が和式であり、米野岳中学校については、今年度体育館に多目的トイレを設置し、併せて洋式化する予定。整備計画等については、学校現場から洋式化の要望がなされている現状を踏まえて、学校の衛生環境充実の観点からも、避難所指定体育館への多目的トイレ設置とも合わせて、順次整備を進めていきたいと考えている。

その他の質問

- ・地方都市の活性化について
- ・自動車運転免許証返納に対する支援について
- ・小中学校の環境について(技術室へのエアコン設置)
- ・投票所の環境改善について

問 市道の維持管理(強化対策)について

答 「安全な道路」の維持管理により一層努める



かなみつ いっせい
金光 一誠 議員
(れいわ創造)



問 以前から市道の維持管理については、①予算が少ないこと ②車両の増加や大型化により交通機能が損なわれていること ③白線が消えたり消えなかったり道路が多くあること(特に雨の降る夜の運転に不安を感じている)を踏まえ、今回、安全で安心な道路整備を進めるため質問をする。

①市道の路線数、延長、面積について
②舗装工事の改修状況、白線の整備状況、維持管理の進め方について
③市道の維持管理に係る交付税の措置状況について
④市道の整備管理(強化対策)について

答 市長

道路は、地域・まちの骨格をつくり、環境・景観を形成し、日々の暮らしや経済活動等を支える社会基盤であるため、常に安全に通行できるように維持管理しなければならぬものと考えている。今後も道路を利用される方々の目線に立った「安全な道路」の維持管理により一層努める。

その他の質問

- 土地利用計画に係る事業調整について
- 有害鳥獣対策について
- 地域公共交通(あいのりタクシー)について

問 本市の都市計画税のあり方は

答 早期の都市計画税廃止は困難である



せきぐち かずよし
関口 和良 議員
(れいわ創造)



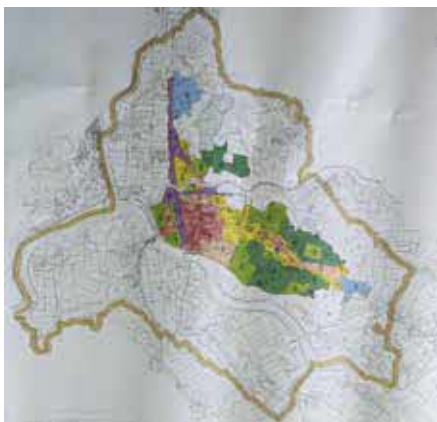
問 現在用途地域内から徴収し、その全額を下水道整備の地方債の償還に充てている、都市計画税のあり方について問う。

答 総務部長

本市における都市計画税は、年間1億4千万円を超える歳入実績があり、持続可能で、安定的な財政運営を図るうえで、欠かすことができない。また、これまで実施してきた都市計画事業に係る地方債の償還を進めている中、都市計画税に代わる財源がない状況で、

早期の都市計画税廃止は、困難である。

しかし、都市計画税は目的税であり、都市計画税の充当対象となる事業の財源として活用した地方債の償還が進んだ場合や、都市計画税を負担する住民と受益範囲との間に不公平感や不均衡が生じた場合には、当然、税率の見直しや廃止等の必要な措置を講ずるべきものと認識している。今後の都市計画のあり方等を中長期的な視点で総合的に勘案し、都市計画税の方向性を見極めてまいります。



山鹿市用途図

その他の質問

- ふるさと応援寄附金

問 めのだけ小学校体育館必要(基準)面積不足解消は

答 老朽化などで、安全性が確保できないと判断された場合に準備を進める



過去の議会でも質問

令和4年6月、9月、12月 令和5年3月、6月

うどう たつき
有働 辰喜 議員



めのだけ小学校体育館

建物全体面積 34.87m×15.07m=526㎡

うち アリーナ面積

27.8m×15.07m=419㎡

④ 4校統合時、国が定める学級数に應ずる必要面積Ⅱ国が定める教育を行うのに必要な最低限度の面積919㎡を確保せず526㎡の既存体育館で開校した結果、雨天時の活動、学校行事などを含め児童達が制限を受ける状況をつくり出した要因と不足解消(建替え)について伺う。

① 約400㎡の面積不足で開校しても問題ないとした理由は

② 市の方針である既存施設の有効活用(定義とは)

③ 必要(基準)面積不足解消の考えは

答 教育部長

① 統合校の整備方針として、既存施設の有効活用を基本としており、旧米田小学校体育館は耐力度が国の基準値を満たしていた。そのため建替え等を行うとした場合において法令から導かれる必要(基準)面積を下回っていることは把握しているが、整備方針に基づき、改修整備によることとする判断に至った。

② 耐力度調査の結果、基準を満たす場合は必要な改修整備を行い引き続き活用してゆくもの。

③ 老朽化などの理由により安全性が確保できないと判断された場合には、法令で示されている必要面積の基準を参考に建替え等に向けて準備を進めることとなるものを考えている。

その他の質問

- 小規模特認校の遠距離通学対策事業について

問 国保に繰入し引き下げを

答 法定外繰入はできない



過去の議会でも質問

平成29年3月から令和5年6月まで9回

いもう
芋生 よしや 議員
(日本共産党)



病院の受付

④ 国民健康保険税は、他の保険と比べ負担が重く、子育て世帯の負担軽減の観点からやっとなし学年前までの均等割の半額軽減が始まったばかりである。物価高騰、消費の冷え込み、年金などの収入減少が続いていて暮らしが危機的状況の時に、引き上げるべきではない。

国保基金活用と国からペナルティーを科される法定外繰入で、引き下げの努力をすべきだ。

答 福祉部長

ペナルティーを科されない法定外繰入は、天災その他の特別な事情がある場合などに条例を根拠に行うもので、市では国民健康保険税条例や国民健康保険の減免に関する規則に基づき軽減措置に取組み、国保基金投入で対応してきた。令和12年度の国保税率の県下統一後は、法定外繰入による市町村独自の軽減措置はできなくなる見込みで、急激な国保税の値上げを抑えるため、計画的な改定が必要と考える。

その他の質問

- 水道料金値上げ、介護保険制度、重度心身障がい者医療制度について



問 福祉部の事業の現状進捗は

答 福祉部の主要事業と福祉会館構想の進捗状況について

ながた こうじ
永田 紘二 議員



福祉部の所管事業のうち、介護保険入所施設の現状、介護保険給付費の財源、介護予防の取り組み、放課後児童クラブの現状と課題、県保健所跡地利用の福祉会館構想の進捗状況について、尋ねる。

答 福祉部長

市内の介護保険入所施設等には、特別養護老人ホーム6か所（利用者529人）、介護老人保健施設3か所、認知症対応型共同生活介護グループホーム9か所（待機者68人）、養護老人ホーム2か所、介護医療院1か所がある。また、介護保険給付費の財源は、国25%、県12・5%、市12・5%、第1号被保険者23%、第2号被保険者27%の割合で負担している。被保険者、市の負担を抑えるために、本市では、早い段階から介護予防に取り組み、元気で自立した日常生活を送れるよう支援を行っている。次に、放課後児童クラブは22か所、児童数767人、関係職員128人であり、課題については、各クラブにそれぞれあると思うが、クラブを運営している運営委員会や法人と話をしながら、行政も一緒に課題解決に取り組んでいる。福祉会館構想の進捗状況については、現在、新福祉会館建設推進委員会を設置し、意見聴取を行っている。本年度中に基本構想を策定する予定である。

その他の質問

有害鳥獣対策について

- 有害鳥獣捕獲奨励金の単価について
- 有害鳥獣処分施設について

令和5年(第4回)12月定例会における賛否表

審査審議案43件のうち賛否が分かれた議案のみ掲載します。その他の議案については議会ホームページをご覧ください。
※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議案番号	上程された議案・概要	議席番号																			
		議員氏名																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	18	19	20		
		関口和良	永田壮弘	深牧大助	原芳郎	隈部賢治	高橋龍一	豊田新二郎	山下誠治	古川和博	金光一誠	松見真一	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	富丸洋一郎	北原昭三	永田紘二		
第84号	山鹿市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例及び山鹿市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
第89号	山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
第92号	山鹿市水道事業給水条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
第94号	令和5年度山鹿市一般会計補正予算(第4号)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

反対討論

芋生 よしや

議案第84号

失われた30年。実質賃金はこの10年間で年間24万円も減っている上、物価高騰で市民の暮らしが大変な中、議員・特別職の期末手当引き上げには反対

議案第89号

負担が重い国保税、就学前までの子どもの均等割半額軽減が始まったばかり、負担増には反対

議案第92号

物価高騰対応、コロナ禍から立ち直ろうとする時期、営業、市民のくらしに寄り添うならば、負担緩和のあらゆる手立てを講じるべき、水道料金値上げに反対

議案第94号

議員及び、特別職の期末手当引き上げ分の補正予算に反対

農林業を考える議員の会

●山鹿市農業委員会との意見交換会 (8月22日)

「山鹿市農業委員会の役割と現状」を研修し、意見交換をしながら、認識を深めるとともに課題解決を展望することを目的に開催した。

市農業委員会から14人、事務局から2人、議員の会から10人の参加。具体的な取り組みとして鹿北地域・鹿本地域から事例発表があり、活発な意見交換ができた。



会員 有働辰喜・勢田昭一・永田紘二・隈部賢治・
松見真一・古川和博・山下誠治・高橋龍一・
永田壮拓・豊田新二郎

●菊鹿・鹿本地域農業者意見交換会 への参加 (11月2日)

農業者の高齢化や農業離れに伴い、遊休農地が増加傾向にある。今回の意見交換で、農業に従事しておられる各層の生の声を伺うことやそれぞれの情報交換の中でこれからの「山鹿市の農業政策の方向性」を考えることができた。

鹿本地域振興局、山鹿市農業振興課、農業委員会、JA鹿本、新規就農者、菊鹿・鹿本地域（JA青年部、JA女性部、JA生産部会）、女性農業者、山鹿4Hクラブ、農業法人代表（鹿本地域）・議員の会などが参加。



山鹿市議会スポーツ振興議員連盟

●山鹿少年野球クラブとの親善交流試合 (11月16日)

山鹿市議会スポーツ振興議員連盟（13名）は鹿本グラウンドで山鹿少年野球クラブと交流試合を行った。

当日は小雨降る中での試合開始で、次第に雨が強くなり4回迄しか出来ず10対1で負けたが、好プレーあり、珍プレーありで子ども達、クラブ関係の皆様、保護者の皆様との楽しい交流が出来た。今後も色々なスポーツ団体との交流を行っていきたい。



会員 永田紘二 富丸洋一郎 有働辰喜
勢田昭一 小川榮二 金光一誠
山下誠治 豊田新二郎 隈部賢治
原 芳郎 深牧大助 永田壮拓
関口和良

山鹿市議会議会報告会

「ご意見をお聞かせください」

山鹿市内5会場で開催いたします。会場ごとのテーマでグループディスカッションを行います。
ご興味のあるテーマの会場に是非ともご参加ください。

日時と各会場テーマ

- 1月26日(金) 19:00～ 山鹿市役所501会議室
山鹿会場テーマ:「にぎわい創り」
- 1月27日(土) 19:00～ 菊鹿公民館
菊鹿会場テーマ:「有害鳥獣対策」
- 2月 2日(金) 19:00～ 鹿本市民センター
鹿本会場テーマ:「子育て環境」
- 2月 3日(土) 13:30～ 鹿北市民センター
鹿北会場テーマ:「共同活動(区役等)」
- 2月 3日(土) 19:00～ 鹿央市民センター
鹿央会場テーマ:「いきいき高齢者」

議会報告会プログラム(合計90分)

- ・開会
- ・議長あいさつ
- ・出席議員紹介
- ・議会活動報告
- ・質疑応答
- ・グループディスカッション
- ・閉会



※当日は広報誌掲載用の写真を撮らせていただきます。

お問合せ：山鹿市議会事務局 0968-43-1634

議会の主な動き

10月

- 10日(火) 熊本市議会議長会(～11日)
- 11日(水) 植木バイパス早期実現期成会
要望活動(～12日)
- 18日(水) 全員協議会
- 20日(金) 県産材需要拡大要望活動受入
- 24日(火) 九州市議会議長会【佐世保】
- 25日(水) 全国議長会フォーラムin北九州(～26日)
総務文教常任委員会行政視察(～27日)
- 30日(月) 百歳到達者表敬訪問
- 31日(火) 広報広聴委員会
森林・林業・林産業活性化九州大会

11月

- 1日(水) 国道443号期成会総会
- 6日(月) 建設経済常任委員会行政視察(～8日)
- 16日(木) 広報広聴委員会
- 21日(火) 議会運営委員会
百歳到達者表敬訪問
- 28日(火) 12月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会

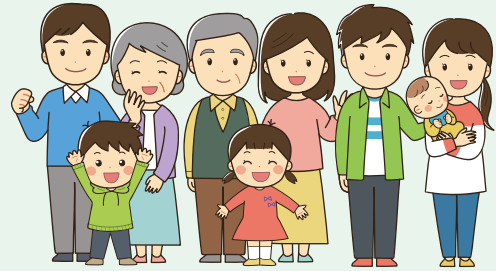
12月

- 5日(火) 質疑・一般質問
- 6日(水) 質疑・一般質問
- 7日(木) 予算決算常任委員会
広報広聴委員会
- 11日(月) 建設経済常任委員会
- 12日(火) 市民福祉常任委員会
- 13日(水) 総務文教常任委員会
- 15日(金) 予算決算委員会
広報広聴委員会
- 19日(火) 議会運営委員会
- 20日(水) 12月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
- 22日(金) 広報広聴委員会
- 27日(水) 百歳到達者表敬訪問
- 28日(木) 仕事納め式
年末警戒

議会だよりへのご意見 聞かせてください!

議会広報広聴委員会では、市民のみなさんに「読みやすい議会だより」をめざして、紙面改善をしています。

是非みなさんのご意見をお寄せください。



FAX : 0968-42-8288
(山鹿市議会事務局)

編集後記

今や、生活必需品になったスマホからは、瞬時に世界中の出来事が伝えられ情報は溢れ出しています。本来、私達の生活にゆとりを生み出し豊かな暮らしづくり役立つはずのスマホが、その操作に夢中になるあまり人と人との距離感が益々遠くなって行くことを危惧しています。

さて、今回の議会だより作成にあたり、各委員の認識が共有できるように基本方針を掲げ、読まれる・役立つ・議会を身近に感じてもらえスツキリとした紙面作りを目指し、広報広聴委員と

して聞き慣れない用語に日々向き合い、何とか市民の皆さんへ届くと、議会の言葉を紙面に乗せて12月議会だよりを作成しました。

ご一読頂き、是非是非誌面二次元コードを読み取られ、ご視聴願えれば、個々の議員の考えなどが良く伝わるものと確信します。

これからも、市民の皆様の声をお寄せ頂き、議会だよりを通じて市民一人一人が繋がる手助けとなれば、より身近に市民が主役の山鹿市政が実現するものと思います。

広報広聴委員会 古川和博

広報広聴委員

芋生 よしや
高橋 龍一
松見 真一
古川 和博
山下 誠治
関口 和良

